

「疾患」ではなく「人」を診る

2024年の2月から3月にかけてのおよそ1か月間、新潟市民病院の総合診療科で臨床実習をさせていただきました。実習は主に外来と病棟で行われました。外来では指導医の先生の外来見学と新患の患者さんの問診をさせていただきました。先生と患者さんとの間で築かれた良好な関係性や、患者さんの訴えに耳を傾けて今後の検査や治療の方針を決定する過程を知ることができました。自身が主体となって問診をとらせていただきましたが、あらゆる領域にまたがる症例を経験することができました。教科書的な知識がなかなか通用せず、疾患ではなくて患者さんを診ることの重要性を感じました。病棟実習では、1人の患者さんを1か月にわたって担当させていただきました。その方は、発熱の原因が分からず入院されていた方でした。あらゆる検査を控える中、気さくにお話していただき、体調や心境の変化を身近に感じることができました。この1か月間の実習を通して、医学の知識のみならず、医療者として必要なスキルを学ぶことができました。